

型名 ASB-392SSG

このたびはAsahi製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS 1 号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

20588673(DT)

も く じ

ページ

ご使用の前に

特に注意していただきたいこと……	1
各部のなまえ	
外観図………	7
本体構造図………	8
バーナー部………	8
メインリモコン………	9
使用前の準備………	10

使用方法

使用方法	
給湯………	13
給湯温度のめやす………	13
使用上の注意………	15
凍結予防………	16
運転再開時の注意………	19
安全装置………	20
その他の装置………	21

上手に使う

日常の点検・手入れ………	22
--------------	----

故障かな？

故障・異常の見分けかたと処置方法	25
部品交換のしかた………	26
定期点検………	27
仕 様………	27
アフターサービス………	28
据付け………	29

特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	注 意		一般的な注意
		接触禁止			高温注意
		分解禁止			感電注意
		一般的な禁止	指 示		電源プラグを抜くこと
					必ず行うこと

警告(WARNING)

ガソリン厳禁

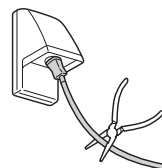


ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードを切断して延長しない

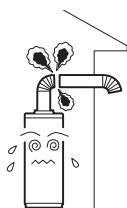


電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。



排気筒外れ危険

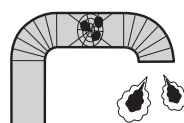
(酸欠事故・火災・過熱の原因)



排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

排気筒の閉そく危険

(酸欠事故・火災・過熱の原因)



排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

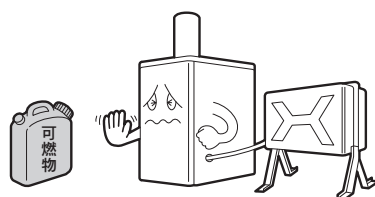
⚠ 注意(CAUTION)

高温部接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部(機器や排気筒、拡散排気筒)に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。

可燃物禁止



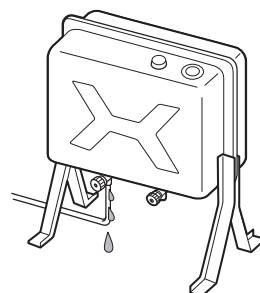
壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)
機器本体および排気筒、拡散排気筒の近くに燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてください。また、シャワー使用中は使用者以外の方がお湯の温度を変更しないでください。リモコンの運転スイッチを押して「切」にしても機器内の熱いお湯が出ることがありますので、お湯の温度を確かめて使用してください。やけどのおそれがあります。

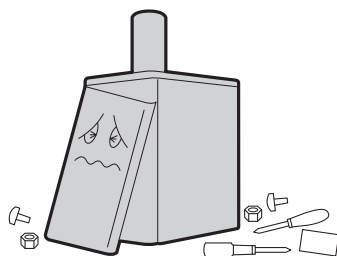
油漏れに注意 (火災の原因)



機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れがないか確認してください。

分解修理・改造の禁止

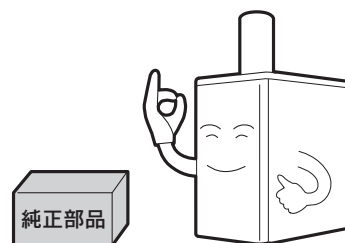
(感電・漏電・火災の原因)



故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

純正部品以外は使用しない

(事故の原因)



部品は必ずAsahi石油小形給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。

特に注意していただきたいこと

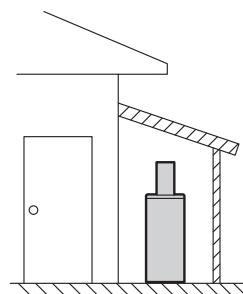
⚠ 注意(CAUTION)

家庭用以外の使用禁止



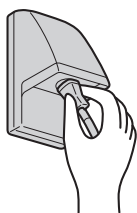
- この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。寿命が短くなったり、事故の原因になります。業務用に使用して事故が発生した場合は、保証の対象外になります。
- 家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

囲い禁止



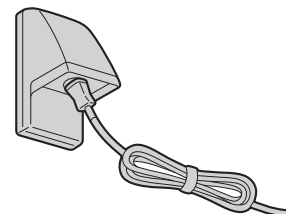
機器や排気トップ、拡散排気筒を波板などで囲わないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む



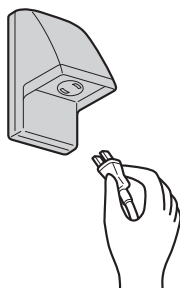
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。発熱や火災のおそれがあります。

電源プラグでの運転・停止禁止



電源プラグを抜いて、機器の運転や停止を行わないでください。火災・感電の原因になります。

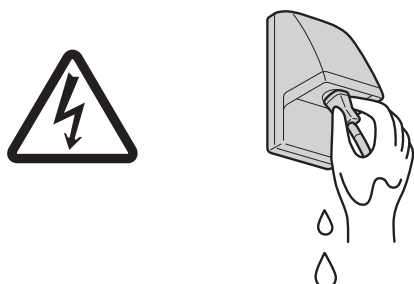
長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。

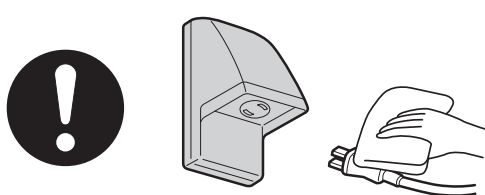
⚠ 注意(CAUTION)

濡れた手危険



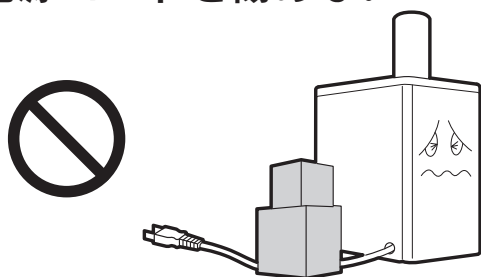
電源プラグを濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあり、危険です。

電源プラグのお手入れをする



ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（および金属物）を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

電源コードを傷めない



電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

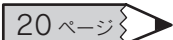
この機器は上水道用です



地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットをくり返さないでください。火災・事故の原因になります。  20 ページ

異常時使用禁止



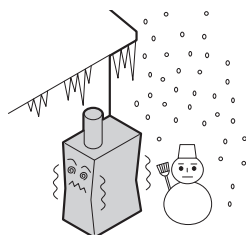
万一異常を感じたときは使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

お願い(NOTICE)

凍結に注意

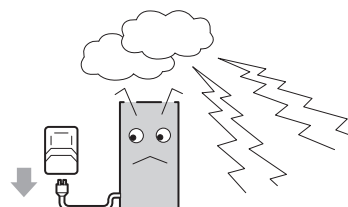
(故障の原因)



冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

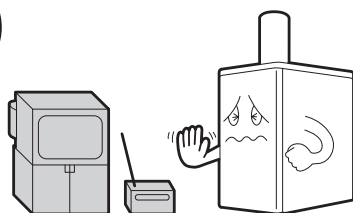
16～19ページ

落雷のおそれがあるときの処置



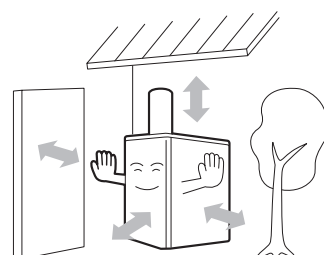
雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

電気器具の近くに設置しない



テレビやラジオ等の近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。離して設置してください。

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

排気筒トップの真下に物を置かない



排気筒トップからは冬期に排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。真下に物などを置かないでください。

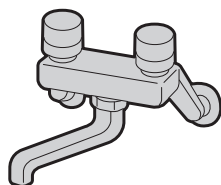
1,000m以上の高地で使用する場合はご相談を…



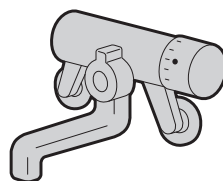
標高1,000m以上の高地で使用する場合は販売店にご相談ください。

お願い(NOTICE)

混合水栓について



混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



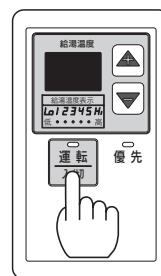
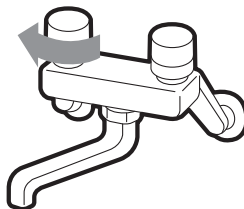
やけど防止のためサーモスタット付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めに設定して使用してください。

断水の時は



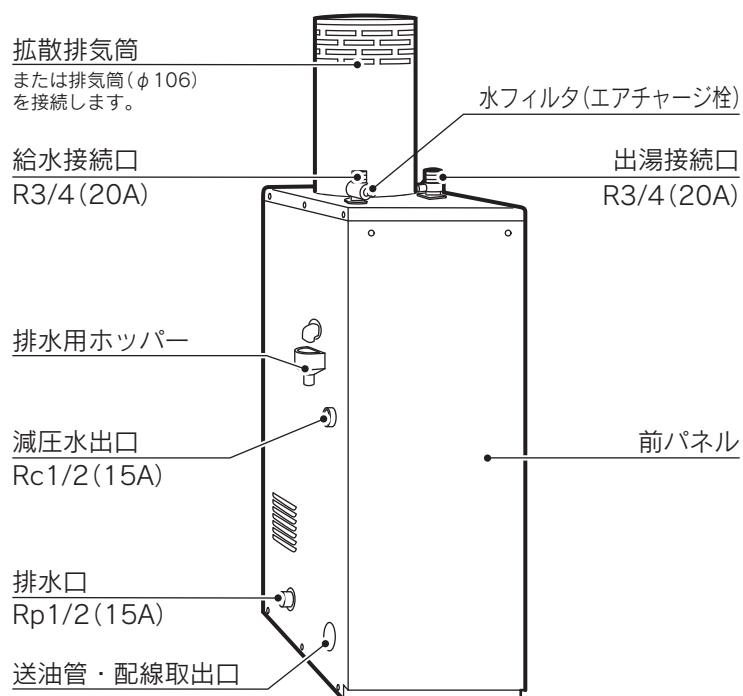
給湯じゃ口を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください

閉じる



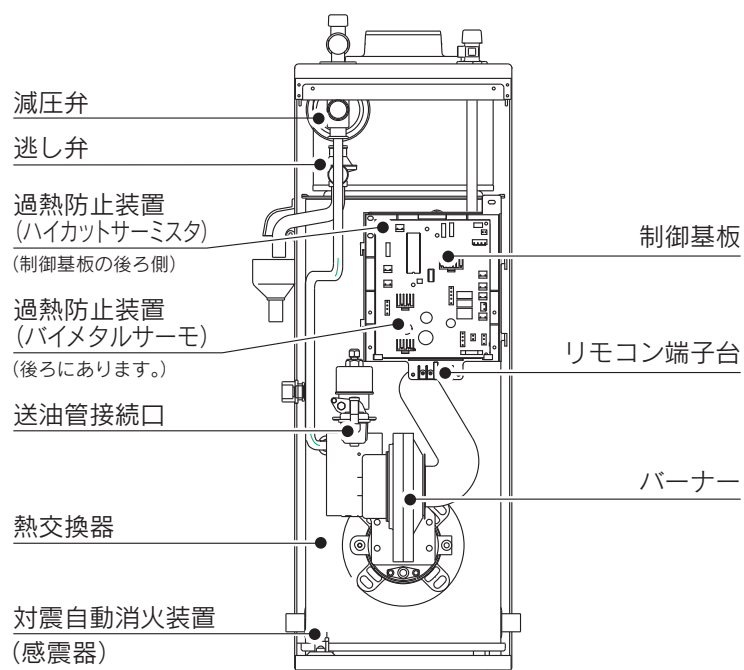
各部のなまえ

●外観図

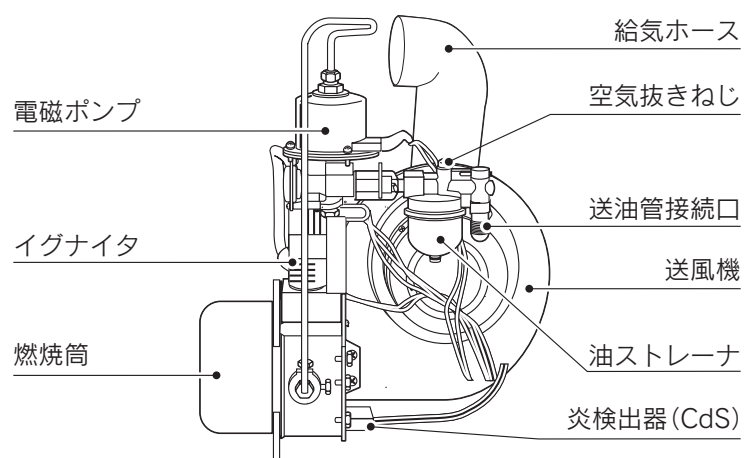


※排水口、送油管・配線取出口は左右両側にあります。
拡散排気筒をはずすと排気筒 (φ 106mm) を取り付けることができます。

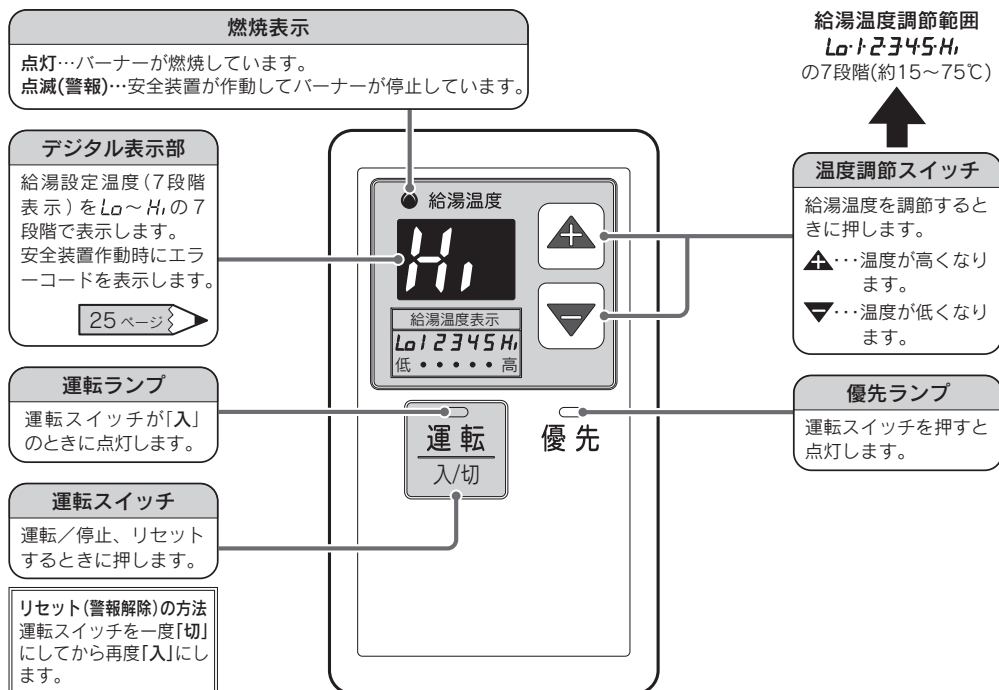
●構造図



●バーナー部



●メインリモコン(CMR-161)



使用前の準備

燃料

燃料は灯油 (JIS 1 号灯油) を必ず使用してください。



警告

ガソリン、ベンジン、シンナー、重油、軽油やその他のものが混入した灯油は火災・故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

給油

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意

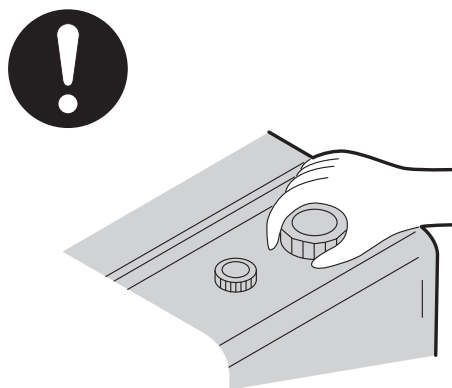


給油の際に水、ゴミなどが入らないように特に注意してください。

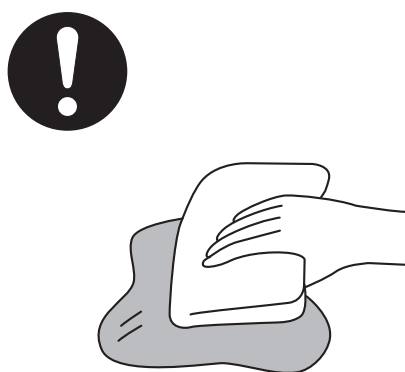
水、ゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

ご使用の前に

2 給油口ふたは確実に締める



3 こぼれた灯油はふきとる



4 燃料切れの注意と送油経路の空気抜きの方法

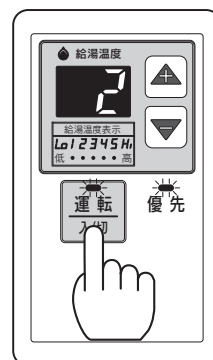
油タンクを空にしないように注意してください。

空にした場合は油タンクに給油した後、リセットしてください。

20 ページ

リセットしても着火しない場合は、何度もリセットを繰り返すと危険ですので、販売店にご連絡ください。

- 試運転時に送油経路の空気抜きを行っても、電磁ポンプ内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがあります。警報になった場合はリセットしてください。
- 何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
- 油切れ予告装置を取付けると、灯油がなくなる前にメインリモコンにエラーコード「P2」を表示してお知らせします。
しばらくの間は燃焼を継続しますが、すみやかに給油してください。

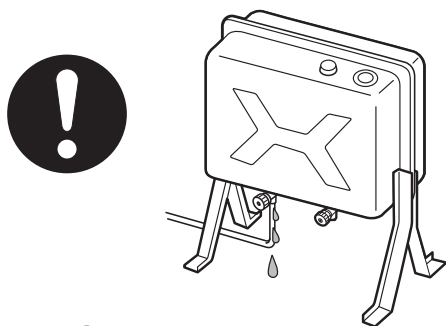


点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

- (1)給水元栓と給湯じゃ口を開き、じゃ口から水が出ることを確認してください。
- (2)機器や接続部から水漏れしていないか確認してください。
- (3)浴そうの排水栓は水漏れのないようにしっかり締めてください。

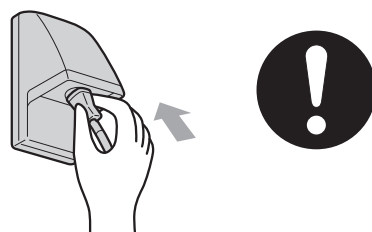
2 送油経路の点検



⚠ 注意

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

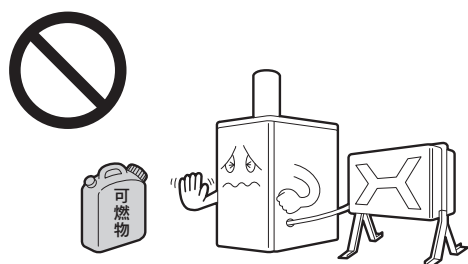
3 電源プラグの確認



⚠ 注意

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 周囲の点検

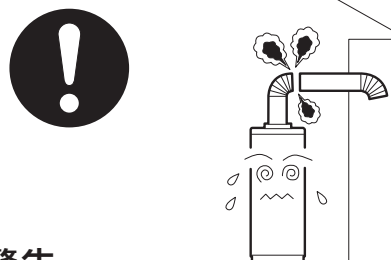


⚠ 注意

機器本体および排気筒、拡散排気筒、油タンクの上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。

5 排気筒の確認

(屋内設置の場合)



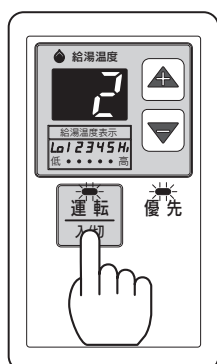
⚠ 警告

排気筒が正しく接続されているか確認してください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れ大変危険です。

使用方法

給湯

1 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。

2 温度を調節する



温度調節スイッチを押しご希望の温度に調節してください。

設定温度は **Lo ~ Hi** (約15~75℃) の範囲で7段階に調節できます。

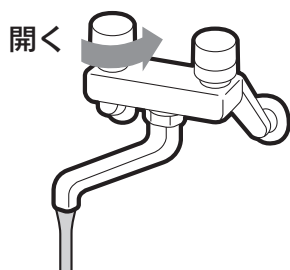
●給湯温度のめやす

給湯温度表示部	給湯温度
高 Hi	← 75℃
• 5	← 60℃
• 4	← 50℃
• 3	← 45℃
• 2	← 40℃
• 1	← 35℃
低 Lo	← 15℃

⊕お知らせ⊕

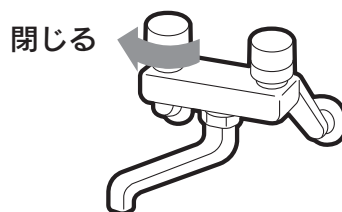
- 給湯温度はめやすです。
配管や給水温度、給湯量により異なります。
- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの設定温度をサーモスタット付混合水栓の設定温度より低い温度に設定すると、水栓から出てくるお湯の温度が希望の温度にならないことがあります。このようなときは、給湯温度を高い温度に設定してください。

3 給湯じゃ口を開く



温度が下がると自動的にバーナーが点火し、燃焼表示が点灯してお湯が出ます。

4 給湯じゃ口を閉じる



長時間使用しないときは運転スイッチを「切」にしてください。運転ランプが消灯します。

●給湯量と給湯温度の早見表

- 給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。(給水温度20℃の場合)
- 最大給湯量は給湯温度・給水圧・じゃ口・配管などの諸条件により異なります。

給湯温度(℃)	最大給湯量(L/h)
45	1,560
50	1,300
60	970
75	700

使用上の注意

⚠注意

1 排気筒・拡散排気筒に注意

排気筒・拡散排気筒は高温です。手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

2 高温注意

シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。また他の場所に使用者がいる場合はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出ることがあります。特に小さなお子様には注意してください。

3 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災・事故の原因になります。

20 ページ 

4 みだりに飲用に用いないでください

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、水質が変わることがあります。
飲用、または調理に使用しないでください。

5 油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。
灯油の残量が少なくなるとお知らせします。

6 日常の点検・手入れを行う

22～24 ページ 

運転中に停電したとき

- 停電復帰後、自動的に運転を開始しますので、使用しないときは電源プラグを抜いてください。

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「③ 機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

18 ページ 

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「① 給湯じゃ口から水を流す方法」または「③ 機器内の水を抜く方法」に従って凍結予防を行ってください。

16・18ページ

地震などの被害があったとき

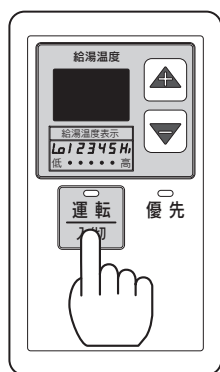
- 運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜き、機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

凍結予防

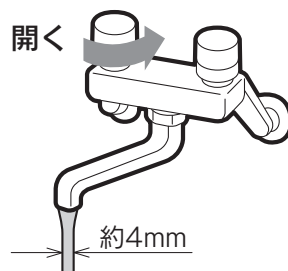
- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

① 給湯じゃ口から水を流す方法

1 運転スイッチを「切」にする



2 給湯じゃ口を開く



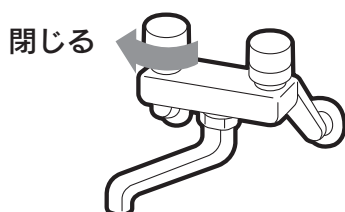
給湯じゃ口を開き、1分間に400cc程度(約4mm)の水を流したままにします。

お知らせ

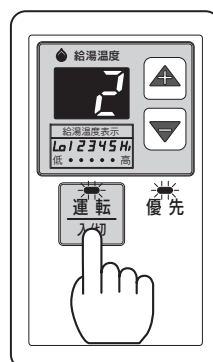
- 機器だけでなく、配管・バルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。
- 電源プラグは抜かないでください。

2 バーナーを運転させる方法

1 給湯じゃ口を閉じる

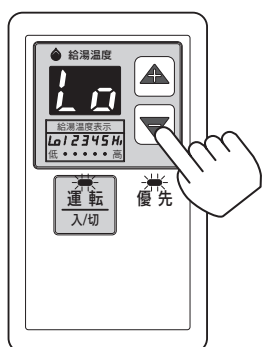


2 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。

3 温度調節スイッチで温度設定を「Lo」にする

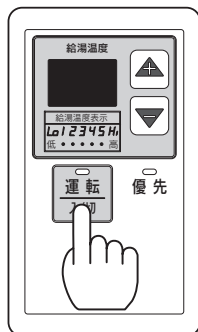


お知らせ

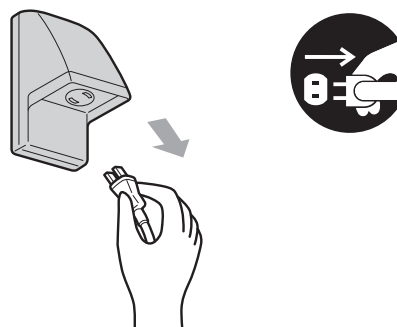
- 電源プラグは抜かないでください。
- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので必ず充分に保温してください。
- 特に冷え込みが厳しいと予想される日は、温度調節スイッチを一度「H₁」(高)にして、しばらくおき(数分間)熱交換器内の湯温を上げてから「Lo」(低)にセットしてください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。
凍結したまま運転すると機器を破損するおそれがあります。

3 機器内の水を抜く方法

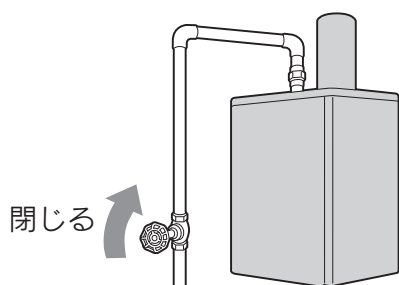
1 運転スイッチを「切」にする



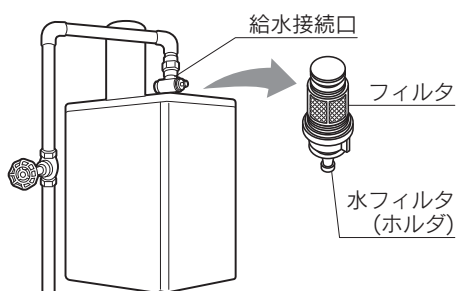
2 電源プラグを抜く



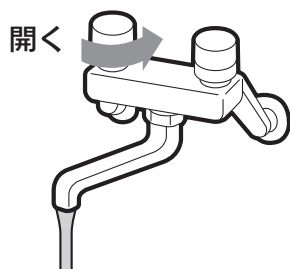
3 給水元栓を閉じる



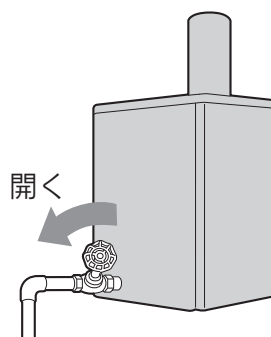
4 水フィルタを外す



5 給湯じゃ口を開く



6 排水栓を開く



お知らせ

- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
 - 再度使用する場合は排水栓を閉じ、水フィルタを元通りに取付け、給水元栓を開いて「**運転再開時の注意**」を確認してください。
- その後、「**使用前の準備**」・「**使用方法**」に従って使用してください。

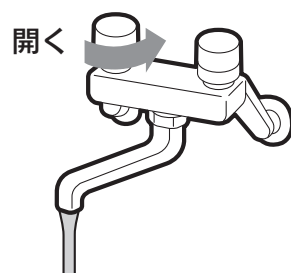
10～15ページ

運転再開時の注意

- 機器を運転する前には必ず次のことを確認してください。
- 凍結した状態で運転すると機器を破損することがあります。

給湯じゃ口を開く

給湯じゃ口を開いて、水が出てくるか確認してください。
水が出にくいときには凍結していますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

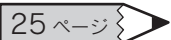
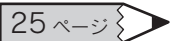


安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動消火します。 エラーコード「 P3 」を表示してお知らせします。 	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃 焼 制 御 装 置 (制 御 基 板)	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動消火します。 エラーコード「 E1 」または「 E3 」を表示してお知らせします。 	作動原因を処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停 電 安 全 装 置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動消火します。	再通電後は自動的に停電前の状態に戻ります。使用中に停電した場合は、再通電後は自動的に運転を開始しますので、使用しない場合は電源プラグを抜いてください。
過 熱 防 止 装 置	サーミスタ、燃焼制御装置(制御基板)の故障、空だき等により熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動消火します。 エラーコード「 E4 」または「 HC 」を表示してお知らせします。 	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

その他の装置

その他の装置	はたらき	装置が作動したあとは
凍 結 予 防 装 置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転した場合や凍結のおそれなくなると自動的に切れます。
電 流 ヒ ュ ー ズ (10A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。 送風機ヒューズが切れたときはエラーコード「E7」を表示してお知らせします。 	お買い求めの販売店にご連絡ください。
送 風 機 ヒ ュ ー ズ (3A)		
油 切 れ 予 告 装 置	油タンク内の灯油の残量が少なくなると、エラーコード「P2」を表示してお知らせします。 	エラーコード表示されても、バーナーはしばらく燃焼を継続しますが、すみやかに給油してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

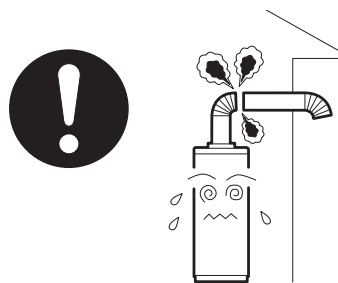
点検・手入れの必要項目、時期、方法 毎日

排気筒接続部のゆるみ、排気筒及び拡散排気筒の周囲

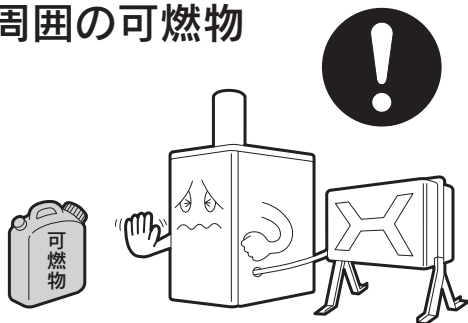
⚠ 警告

排気筒の接続部にゆるみがないこと、排気筒及び拡散排気筒の周囲に可燃物がないこと、またススがついていないことを確認してください。

ゆるんでいたり、ススがついていれば販売店に点検を依頼してください。



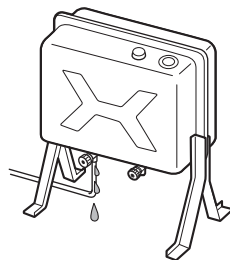
周囲の可燃物



⚠ 注意

機器、排気筒、拡散排気筒及び油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。

油漏れ、油のたまり、油のにじみ



⚠ 注意

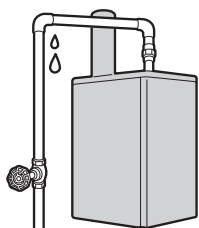
機器や油タンクの送油経路、特に接続部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか確認してください。

上手に
使って
ね

適時に

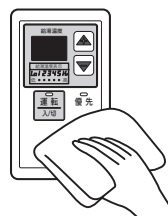
水漏れ

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。



リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー等は使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。

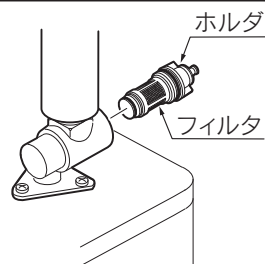


1年に1回以上

水フィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまると湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。

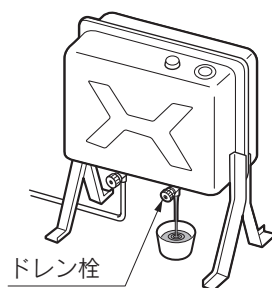
- (1) 給水元栓を閉じ、水フィルタをはずします。
- (2) 水フィルタのホルダについているフィルタを掃除します。
フィルタを変形させないようにしてください。
- (3) 水フィルタを取付け、給水元栓を開いた後、給湯じゃ口を開き、配管内の空気を抜いてください。



※フィルタはホルダから外さないでください。

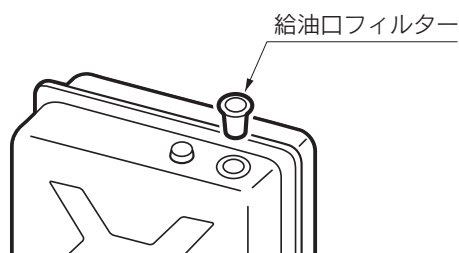
油タンク

油タンク内に空気中の水分が結露して水がたまりますので、タンクのドレン栓を開いて必ず抜きとってください。



給油口フィルターの掃除

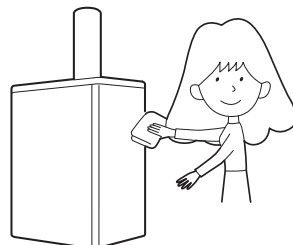
定期的に給油口フィルターにたまったゴミを取り除いてください。



ほこり

機器外面にほこりがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

特に機器側面の空気取入部にたまったほこりをふきとってください。



熱交換器の掃除

給湯熱交換器に湯あかがたまると熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

- (1) 電源プラグを抜きます。
- (2) 給水元栓を閉じます。
- (3) 機器の排水栓と給湯じゃ口を開き、熱交換器内の水を排水します。
- (4) 排水したら給水元栓を開き、きれいな水が出てきたら排水栓と給湯じゃ口を閉じます。

油ストレーナの点検

油ストレーナに水やゴミがたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

逃し弁の確認

逃し弁は機器内部にありますので、販売店に点検を依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード一覧

●メインリモコンに故障・異常箇所をエラーコードで表示します。

確認・処置後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説 明	確 認・処 置
E1	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの 販売店にご連絡ください。
E2	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。 何度もリセットを繰り返すと危険です。 2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの 販売店にご連絡ください。
E4	過熱防止装置作動 (バイメタルサーモ作動)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板(記憶回路)異常	リセットしてください。
E7	送風機異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E9	外気温サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。凍結していな い場合は運転できますが、このままでは凍結予防がで きません。
H7	ハイカットサーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
HC	過熱防止装置作動 (ハイカットサーミスタ作動)	
P2	油切れ予告装置作動	油タンクに給油してください。
P3	対震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセット してください。
74 76	通信異常	電源プラグを差し直してください。

●リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
排気筒、拡散排気筒から白煙や湯気が出る	排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	他の給湯じゃ口を同時に使用すると湯温が熱くなったり、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
給湯じゃ口を開いてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯じゃ口までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油が切れた後、給油したときは送油経路の空気抜きを行わないと火が付きません。 11 ページ
運転スイッチを「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
逃し弁の排水管からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように上昇した圧力を逃がすためです。
リモコン(本体操作部)の表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても、電子回路が作動しているので発熱があります。

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ずAsahi石油小形給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。

⚠ 注意

- 不完全な修理は危険です。故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。

通常 1 年に 1 回程度はお買い求めの販売店で点検を受けることをお奨めします。

(定期点検は有料です。)

仕 様

型 名	ASB-392SSG	
型 式 の 呼 び	IB-451	
種 類	圧力噴霧式、貯湯式急速加熱形	
	水道連結式	
	屋外用開放形、屋内外用半密閉式強制排気形	
点 火 方 式	高圧放電式	
使 用 燃 料	灯油 (JIS1 号灯油)	
燃 料 消 費 量	51.4kW(5.00L/h)	
連 続 給 湯 効 率	87.5%	
連 続 給 湯 出 力	45.3kW(39,000kcal/h)	
熱 交 換 器 容 量	15.9L	
使用圧力(最高使用圧力)	0.1MPa(1.0kgf/cm ²)	
伝 熱 面 積	0.95m ²	
外 形 寸 法	高さ 833mm 幅 300mm 奥行 591mm	
質 量	34kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	100V 50/60Hz	
定 格 点 火 時	120/115W	
消費電力 燃 焼 時	99/95W	
待 機 時 消 費 電 力	1.8W	
排 気 筒 呼 び 径	106	
排 気 温 度	260℃以下	
騒 音 レ ベ ル	50dB(A)	
ノズル	噴 霧 量	1.35GPH
	ス プ レ ー パ タ ー ン	ダンフォース社のKHCパターン
	噴 霧 角 度	60°
電 流 ヒ ュ ー ズ	10A	
送 風 機 ヒ ュ ー ズ	3A	
安 全 装 置	対震自動消火装置、燃焼制御装置、停電安全装置、過熱防止装置	
そ の 他 の 装 置	凍結予防装置、電流ヒューズ、送風機ヒューズ、油切れ予告装置	
付 属 品	リモコン、リモコンコード、給水口保温材、送油管、排水用ホッパー、プラグ(1/2)、アース棒、給油口フィルター、表示シール、Asahiロゴマーク、取扱説明書、工事説明書、保証書、所有者票袋	
バ ー ナ ー 型 名	SB-4510A	
区 分 名 (省 エ ネ 法)	B	
エ ネ ル ギ ー 消 費 効 率	87.5%	

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に25・26ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。直らないときはご使用を中止し、必ずプラグを抜いてからお買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……………Asahi石油小形給湯機
2. 型 名……………ASB-392SSG
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……………できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています（別添）

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より1年間は無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯・ふろ以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結やスケール（石灰づまり）による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

石油小形給湯機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後11年です

- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談してください。

また、「標準据付け例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。

騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設する場合

転居する場合はお買い求めの販売店にご相談ください。

移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準備内容(確認事項)	チェック
(1)油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
(2)油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3)送油管が逆U字型になっていませんか。	
(4)給水元栓を開き、給湯じゃ口を開くと水が出ますか。	
(5)機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6)リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7)電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	

運転

(1)運転開始手順

リモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯じゃ口を開いてください。
温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

(2)初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ピーピー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。

(3)正常燃焼のめやす

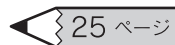
湯温調節できるか、排気筒、拡散排気筒からススや煙が出ていないか、また異常音はしていないか確認してください。

(4)停止

リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。



- 試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
- リモコンの燃焼表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。





朝日ソーラー株式会社

〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2

TEL:(097)546-7500(代) FAX:(097)546-7555

<http://www.asahisolar.co.jp>

販 売 店